

野良の藝術 2021 「鎮魂と再起」

さぎ山の現場II

11月12日(金)～11月14日(日)

「アーティスト作品野外展示」

近年の様々な災いへの収束を願い、再起に向けた表現をする。豊かな自然と農の風景のなかを散策しながら作品を鑑賞をお楽しみください！



野良の藝術 2021 「天空と大地」



野良の藝術さぎ山の現場 2017



さぎ山の炭窯

イベントスケジュール

11月13日(土)

Workshop

炭焼ワークショップ

古来の炭焼技法「伏せ焼き」を大規模に実施

10:00～12:30

薪割り・伏せ焼き体験

*事前ワークショップ
11月12(金)14:00～16:00

薪割り体験

*事後ワークショップ
11月21(日)10:00～12:00

窯開け体験

詳細・事前申し込みはHP内フォームから！
社会芸術・寺山支部 炭焼の会
(<https://artngo16.wixsite.com/socialart>)



11月14日(日)

Workshop

農のワークショップ

里芋掘り体験と新米の竈炊き体験

10:00～11:00

里芋掘り体験

11:00～12:30

新米の竈炊き体験

火を起すことから農の暮らしの創造性を体験
複数の窯を使い、フィジカルディスタンス確保

詳細・事前申し込みはHP内フォームから！
ファーム・インさぎ山
(<https://www.sagiyama1997.com/>)



参加アーティスト

<p>安部大雅 / Hiromasa Abe</p> <p>彫刻家 さいたま市育ち 彫刻制作と並行して 多くの野外芸術祭に参加、 インスタレーションも多く 手掛けている。</p>	<p>石井国義 / Kuniyoshi Ishii</p> <p>庭師 さいたま市出身 庭師として長い旅の途中に 立ち、自然素材の魅力を引き 出して空間と呼応する作品を 各地で制作している。</p>	<p>大原由 / Yu Ohara</p> <p>美術家・映像作家 さいたま市出身 東京藝術大学大学院 芸術学 日本・東洋美術史専攻 研究生 鑑賞について調査。 それを基に制作している。</p>
<p>奥田祥吾 / Shogo Okuda</p> <p>建築家 S.O.A.O 主宰 菊竹清訓建築設計事務所を 経て独立。環境アートなど 活動は多岐に渡る。この度、 協働による世界小屋会議の 舞台装置設計に携わる。</p>	<p>田中迅 / Jin Tanaka</p> <p>環境芸術学会 生命芸術研究部会 学生幹事 多田満氏が実施する社会対話 「環境カフェ+アート」 を補佐し、論文と詩文を 組み合わせた科学詩を通じて 新たな展開を模索している。</p>	<p>柳井嗣雄 / Tsuguo Yanai</p> <p>美術家 和紙造形 物のあり様を風化して消え てゆく物質的存在と記憶や イメージとして現れる精神 的存在とし「物質と生命の 記憶」をテーマとしている。</p>
<p>吉川信雄 / Nobuo Yoshikawa</p> <p>場面投射 1987年 KAMAE EXHIBITION (SOUTH LONDON GALLERY) を企画・プロデュース 2000年 Korean Dajon Media Art 2000 日本側審査委員</p>	<p>吉田富久一 / Fukuichi Yoshida</p> <p>美術家 社会芸術代表 社会芸術・寺山支部炭焼の会 山岳地帯での生活を通し 芸術の根源を自然に置く。 金子英彦氏より芸術の 社会性について示唆を受ける。</p>	<p>根本賢 / Ken Nemoto</p> <p>本企画キュレーター さいたま市出身 武蔵野美術大学建築学科で サイトスペシフィックアート を専攻中、展示企画や会場を 空間作品として表現している。</p>

ulus

HP: <https://artngo16.wixsite.com/socialart>
Mail: ulus.socialart@gmail.com
事務局: 根本賢 奥田祥吾 丸藤晃代

約20年前から「芸術によるSDGs」を实践

2002年「街の創造性とアートの創造性を結びつける」として、
吉田富久一の「社会芸術展 THE 市場」により社会芸術を開始。
東日本各地の野外企画に参加・主催するなかで農とアートに共通点を見
出し、「野良の藝術」を企画実行。野焼きや炭焼きを地域住民を交えて実行
する、前例のないアートプロジェクトを続けている。
先進的な環境芸術への取り組みが学会等で評価されている。

Lecture & Talk show

環境講演会・トークショー 世界小屋会議

「土と森の恵みと見沼の暮らし」



11月13日(土)

①13:30～14:30/ さぎ山記念館学習室

②15:30～16:30/ ファーム・インさぎ山 ひろば

石井秀樹 / 福島大学食農学類准教授 (さいたま市出身)
造園学・環境計画・環境福祉論が専門で、
里山管理論・震災農村復興論などの授業を担当している。
東日本大震災後は、福島原発事故後の復興支援活動に奮闘。

セッション ①13:30～14:30

会場: さぎ山記念館学習室

新しい農学の視点から薪・炭・灰をキーワードに、
アート作品を味わうための参考知識の提供
見沼・さぎ山に関連付けた内容も！

セッション ②15:30～16:30

会場: ファーム・インさぎ山ひろば

農風景が広がる野外会場にて、
「土」の見方が変わるトークショーを開催。
アーティストや参加者を交えたフリートークも！
トーク中は、参加アーティストの奥田祥吾、田中迅が制作する
舞台装置に吉川信雄による映像作品が映し出される。

即興セッション 白鷺が舞い降りてきます。お楽しみに！

入場多数の場合にWS参加者の聴講を優先する場合があります。
事前申し込み優先、定員30名 雨天時はさぎ山記念公園記念館学習室

Talk movie

農のトークムービー鑑賞 世界小屋会議

「農と共に (野良のアート The art of farming)」



11月14日(日)

15:00～16:00/ ファーム・インさぎ山 ひろば

萩原さとみ / ファーム・インさぎ山代表
さぎ山での農と食育活動の実践経験から、現代の様々な問題を解決する
鍵に農があるというお話を取めた貴重なトークムービーを野外で鑑賞！

入場多数の場合にWS参加者の聴講を優先する場合があります。
事前申し込み不要、定員30名 雨天時はさぎ山記念公園記念館学習室

Dance Performance

踊り 鎮魂と再起 フィナーレ

「白鷺のまなざし」 / ファーム・インさぎ山

11月14日(日)16:00頃～(日没に合わせて)



蒼 浩人 / Hiroto Sou

踊りを通して誘われる世界に、共鳴して舞う。
2018年南米ペルーの演劇フェスに出演。
主催者やオーディエンスの注目を集める。
アルト一館所属

撮影: 加藤英弘

ジャンベ演奏: 中村 "NOBU-san" 暢晃